

Open Incubation toward 2020

株式会社デジタルガレージ

2020年3月期 第1四半期決算サマリー

2019.8.9

 **Digital Garage**



2020.3期1Qの税引前利益は前年同期比35%減の22億円も、包括利益は同25%増の46億円

	19.3期 1Q	20.3期 1Q		
連結	税引前利益	34 (億円)	→ 22 (億円) ▲35%	為替による影響 ▲12億円 ≡ 税引前利益の減少額
	包括利益	37 (億円)	→ 46 (億円) +25%	Welbyの公正価値増加、 インキュベーション成果を獲得

	KPI	セグメント業績		
		税引前利益	前年同期比	
FT	<ul style="list-style-type: none"> ■ 決済取扱高 <u>0.6 兆円 (同 20%増)</u> ■ 内、対面決済 <u>396 億円 (同 88%増)</u> 	→ 10 (億円)	+24%	過去最高益更新、 EC/非EC決済ともに 好調
MT	<ul style="list-style-type: none"> ■ 広告取扱高 82 億円 (同 9%減) ■ 広告以外の取扱高 <u>14 億円 (同 30%増)</u> (CRM, データインテグ, アプリ開発等) 	→ 4 (億円)	+26%	CRMと決済アプリ開発 事業が好調、 FTとの連携強化
IT	<ul style="list-style-type: none"> ■ 投資額 / 売却額 12 億円 / 4 億円 ■ 公正価値評価額 <u>278 億円 (前期末比 4%増)</u> 	→ 1 (億円)	▲91%	為替影響あるも、 投資先の公正価値は 着実に増加
LTI	<ul style="list-style-type: none"> ■ カカコム持分法投資利益 <u>9 億円 (同 21%増)</u> ■ グループ全体月間利用者数 2億6,710万 	→ 15 (億円)	+42%	カカコム持分法投資 利益が順調に推移



収益は前年同期比4%減の82億円、税引前利益は同35%減の22億円、包括利益は同25%増の46億円
 ～ リカーリング型事業の収益は同15%増、営業投資有価証券に関する収益は同74%減、その他包括利益の公正価値は同8倍～

単位：百万円	2019.3期	2020.3期	前年同期比	
	1Q (実績)	1Q (実績)	(%)	(金額)
収益	8,548	8,217	-3.9	-331
リカーリング型事業から生じる収益	5,323	6,138	+15.3	+815
営業投資有価証券に関する収益	1,732	459	-73.5	-1,273
その他の収益	664	817	+22.9	+152
金融収益	104	1	-98.8	-103
持分法による投資利益	725	803	+10.8	+78
費用	5,154	5,999	+16.4	+845
売上原価	2,463	2,740	+11.2	+277
販売費及び一般管理費	2,582	2,951	+14.3	+369
その他の費用	72	78	+8.5	+6
金融費用	37	230	6.3 倍	+193
税引前利益	3,394	2,218	-34.6	-1,176
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,113	1,624	-47.8	-1,488
当期利益	3,135	1,617	-48.4	-1,518
その他の包括利益	549	2,972	5.4 倍	+2,423
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	376	3,107	8.3 倍	+2,732
当期包括利益	3,684	4,589	+24.5	+904

注) 上記収益、費用、税引前利益は、非継続事業を除いた、継続事業を表示



FT / MT / LTIともに2桁増収増益を達成

～ ITは、投資先企業の公正価値が着実に増加も、為替の影響等により減益 ～

単位：百万円	2019.3期	2020.3期	前年同期比	
	1Q (実績)	1Q (実績)	(%)	(金額)
収益	8,548	8,217	-3.9	-331
FT フィナンシャルテクノロジー	1,577	1,889	+19.8	+312
MT マーケティングテクノロジー	3,239	3,570	+10.2	+330
IT インキュベーションテクノロジー	1,898	507	-73.3	-1,391
LTI ロングタームインキュベーション	1,740	2,232	+28.3	+492
税引前利益	3,394	2,218	-34.6	-1,176
FT フィナンシャルテクノロジー	809	1,003	+24.0	+194
MT マーケティングテクノロジー	307	386	+25.8	+79
IT インキュベーションテクノロジー	1,634	146	-91.0	-1,487
LTI ロングタームインキュベーション	1,050	1,493	+42.2	+443

注) セグメント収益及び税引前利益は、セグメント間取引消去、全社収益及び費用調整前



税引前利益及び当期包括利益

単位：百万円	2019.3期	2020.3期	前年同期比	
	1Q (実績)	1Q (実績)	(%)	(金額)
税引前利益	3,394	2,218	-34.6	-1,176
親会社の所有者に帰属する当期利益	3,113	1,624	-47.8	-1,488
当期包括利益	3,684	4,589	+24.5	+904

■ <u>FT / MT / LTI セグメント</u>	+ 7 億円
■ <u>IT セグメント</u>	▲ 15 億円
➔ 為替の影響	▲ 11 億円 ✓
株式売却益	▲ 5 億円
公正価値評価益	+ 2 億円
■ <u>HQ</u>	▲ 4 億円
➔ 事業拡大に伴う販管費の増加	▲ 2.0 億円
為替の影響	▲ 1.7 億円 ✓
計 税引前利益 減益	▲ 12 億円

■ <u>当期利益 減益</u>	▲ 15 億円
➔ 継続事業	▲ 7.0 億円
非継続事業	▲ 8.2 億円
■ <u>その他の包括利益</u>	+ 24 億円
➔ Welby上場に伴う公正価値の増加 等	+ 27.3 億円
為替換算調整	▲ 2.5 億円 ✓
計 当期包括利益 増益	+ 9 億円



2020年3月期 第1四半期末 連結 要約B/S (IFRS)



単位：百万円	19.3期末	20.3期1Q末	前期末比	主たる変動要因/備考
流動資産	99,186	93,562	-5,624	
現金及び現金同等物	48,154	41,549	-6,605	新規投資、FT事業関連科目、法人税と配当金の支払い等
営業債権及びその他の債権	23,254	22,990	-264	FT事業関連科目他
営業投資有価証券	26,695	27,812	+1,117	<u>新規投資及び投資先企業の公正価値評価額の増加</u>
非流動資産	47,704	53,691	+5,987	
のれん	6,575	6,966	+391	新規取得
持分法で会計処理されている投資	19,139	19,530	+391	持分法投資利益の取込
その他の金融資産	6,662	11,884	+5,222	<u>新規投資及び上場株式の時価評価</u>
資産合計	146,890	147,253	+363	
流動負債	52,420	47,758	-4,662	
借入金	2,211	5,657	+3,446	FT運転資金需要
営業債務及びその他の債務	45,799	38,794	-7,005	FT事業関連科目他
非流動負債	47,125	48,819	+1,694	
社債及び借入金	35,959	35,837	-122	
繰延税金負債	4,744	6,286	+1,541	<u>有価証券の評価益に係る税金見積り額</u>
負債合計	99,545	96,576	-2,968	
資本合計	47,345	50,677	+3,331	
親会社の所有者に帰属する持分	46,609	49,948	+3,338	
資本金	7,504	7,531	+27	
資本剰余金	4,235	4,237	+2	
自己株式	-5,026	-5,026	-0	
その他の資本の構成要素	1,303	4,275	+2,971	<u>投資先企業の公正価値評価額の増加 (その他の包括利益)</u>
利益剰余金	38,593	38,931	+338	当期利益の取込
非支配持分	736	729	-7	
負債及び資本合計	146,890	147,253	+363	

事業セグメント別レビュー



I フィンシャルテクノロジーセグメント

	収益	税引前利益
2019年3月期 1Q実績	1,577 百万円	809 百万円
2020年3月期 1Q実績	1,889 百万円	1,003 百万円

▶ **econtext ASIA Ltd.**
決済事業香港法人



▶ **株式会社イーコンテクト**
国内最大級の現金系決済プロバイダー



▶ **ベリトランス株式会社**
国内最大級のカード決済プロバイダー



▶ **ANA Digital Gate株式会社** (出資比率49%/持分法適用会社)
FinTechを活用した新たな決済ソリューションを開発・提供



▶ **株式会社SCORE** (出資比率49%/持分法適用会社)
後払い決済事業、決済データを活用した各種金融事業を展開



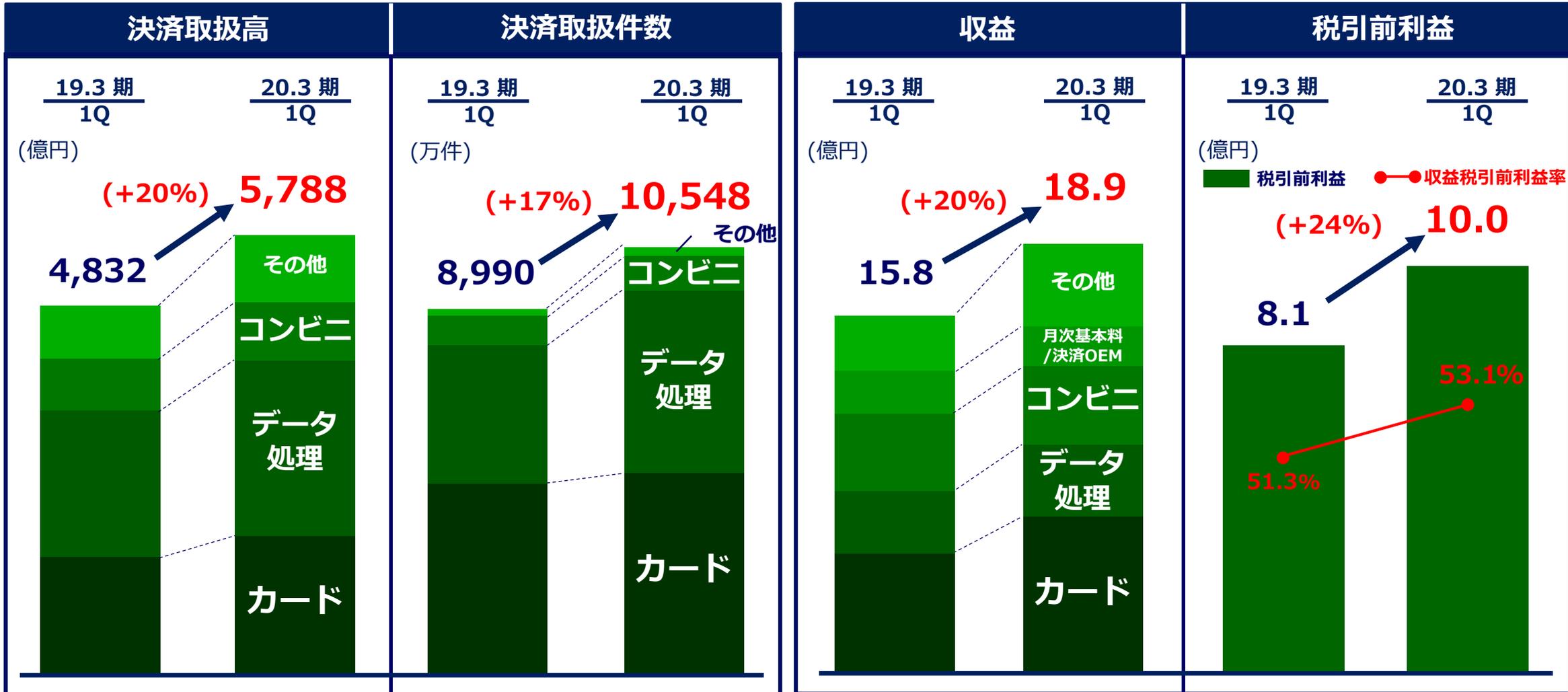
▶ **TDペイメント株式会社** (出資比率49%/持分法適用会社)
POSシステム向けマルチ決済ソリューションを展開





収益は同20%増収、税引前利益は同24%増の10億円、四半期最高益更新

～ 決済取扱高は前年同期比20%増の5,788億円、決済取扱件数は同17%増の1億件を突破 ～





**事業パートナーとのアライアンスにより、大規模事業者から中小規模の小売店舗まで網羅
～ キャッシュレス社会に対応した対面小売店向け決済ソリューションを提供 ～**



注) MPM (Merchant Presented Mode) : 店舗に設置したQRコードを消費者がスマートフォンで読み取って支払う方式

II マーケティングテクノロジーセグメント

	収益	税引前利益
2019年3月期 1Q実績	3,239 百万円	307 百万円
2020年3月期 1Q実績	3,570 百万円	386 百万円

▶ マーケティングテクノロジーカンパニー

パフォーマンスアド、O2O、Webマーケティングを提供



▶ 株式会社DGコミュニケーションズ

不動産広告事業を主にし、生活者の暮らしをより快適なものにするソリューションを提供



▶ 株式会社 BI.Garage

データサイエンス事業、ソーシャルマーケティング、最先端アドテクを提供



▶ ナビプラス株式会社

ベリトランス子会社、ECサイト内レコメンドエンジンを提供



▶ 株式会社サイバー・バズ (出資比率25%/持分法適用会社)

インフルエンサーを主軸としたソーシャルメディアマーケティング事業を展開



▶ 株式会社DGマーケティングデザイン (出資比率20%/持分法適用会社)

ビジネスデザインカンパニーを前身として2018年6月25日に設立

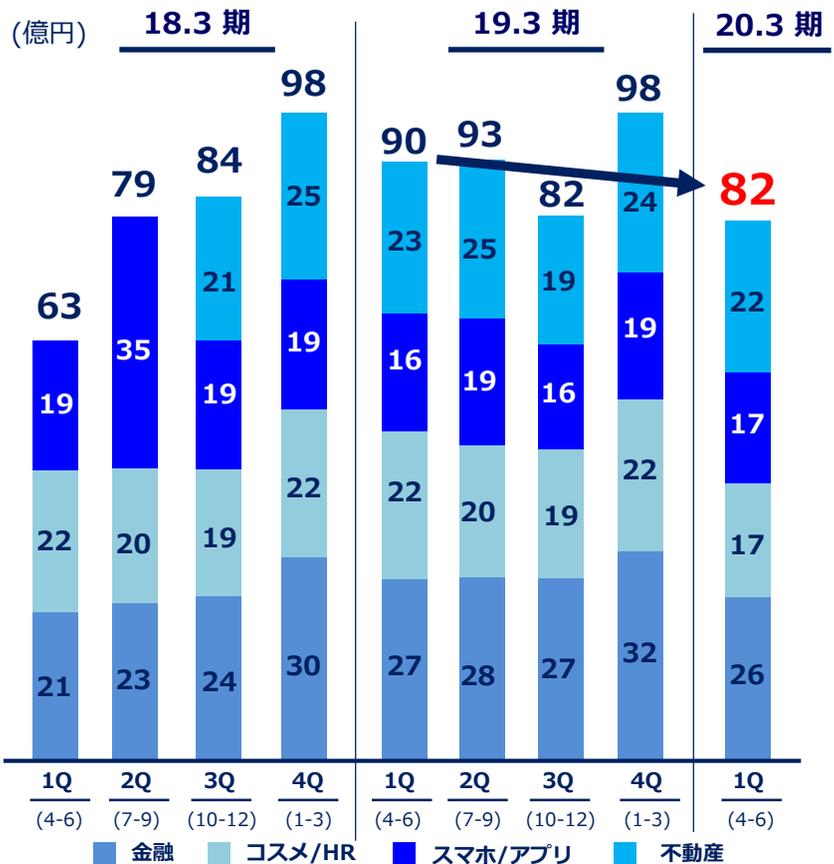




収益は前年同期比10%増の36億円、税引前利益は同26%増の4億円

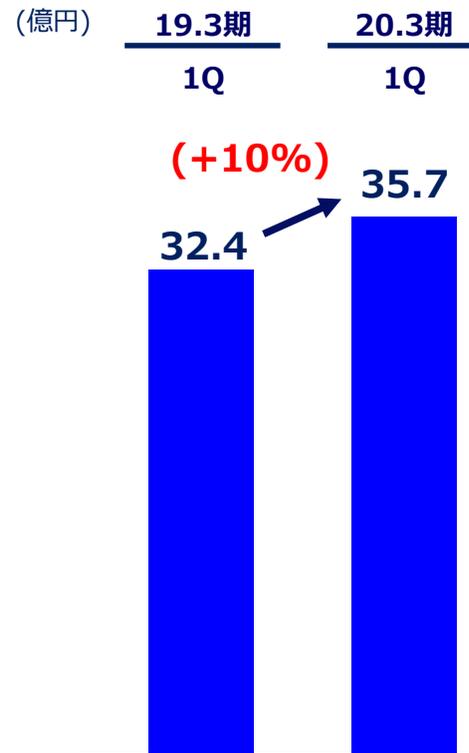
～ 収益性改善のため顧客構成の見直しを実施。選択と集中で高利益率確保を目指す ～

広告取扱高



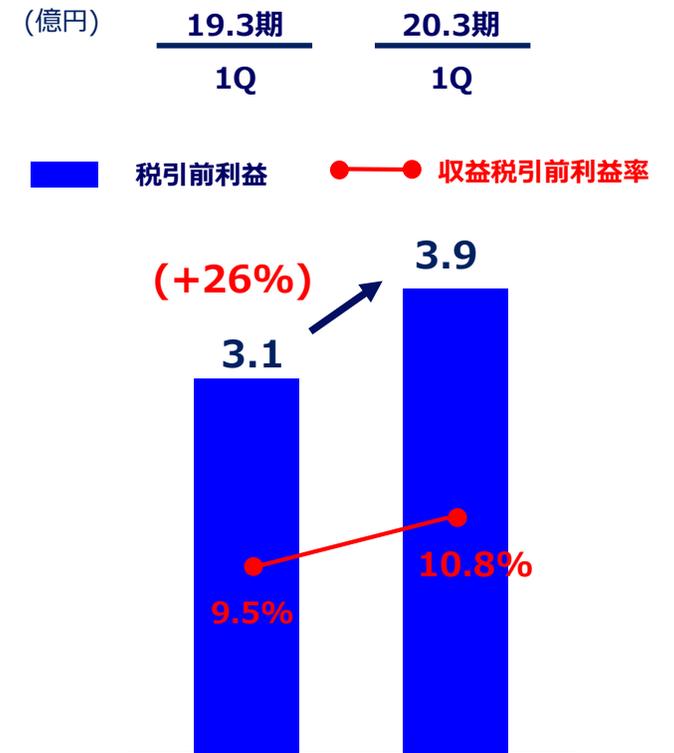
■ 各セクターで伸び悩む中、スマホ・アプリは前年同期比で回復

収益



■ 顧客構成の見直しを実施し、収益よりも利益の確保を優先

税引前利益



■ 高利益率の顧客を選択・集中し、粗利率が改善
 ■ インターネット広告事業より粗利率の高いCRMマーケティング事業が好調



事業環境の変化に対応

I <マーケティングテクノロジーカンパニー>
MT / FT 連携

FTを含めたセグメント横断的な成長戦略を推進

- JR九州グループのCRM・決済プラットフォームを構築
 - マルチQRコード決済アプリ「クラウドペイ」と連携した、加盟店向けマーケティング施策を推進へ
- 広告以外のCRM・アプリ開発等の粗利構成比は前年同期比4ポイント増の24%に拡大

II <DGコミュニケーションズ>
不動産 / ONL 連携

不動産業界向け「Open Network Lab Resi-Tech」、
第1回 Demo Day 開催。業界の課題解決に向け、
国内大手7社とスタートアップ5社が実施する実証事業を支援開始



III <サイバー・バズ>
ソーシャルメディアマーケティング

Instagram、FacebookなどSNSを活用した
インフルエンサーマーケティングの自社プラットフォーム展開 Cyber Buzz
ブランド広告主のSNSアカウント運用と独自分析ツールを提供

IV <メディアコンソーシアム推進室>
ナショナルクライアント

日本を代表するコンテンツメディア38社を組織してデジタル価値研究会を組成、
主要クライアントへの高価値デジタル広告のテストマーケティングを
7月に参加メディアにより実施。共同事業化に向けての活動を推進

日本を代表するデータサイエンティスト

次世代のデータテクノロジー

< FT / MT / LTI を横断するデータサイエンス事業の強化 >



BI.GARAGE

BI. Garage 取扱高
前年同期比 +29%

DG/カカクコムが主体で開発した広告メニューで
ナショナルクライアントの広告出稿が拡大

Digital Garage kakaku.com

クライアント数

19.3 1Q 20.3 1Q
35社 ➡ 68社

Ⅲ インキュベーションテクノロジーセグメント

	収益	税引前利益
2019年3月期 1Q実績	1,898 百万円	1,634 百万円
2020年3月期 1Q実績	507 百万円	146 百万円

▶ 株式会社DGインキュベーション

ベンチャー企業等への投資およびインキュベーション事業



▶ 株式会社 Open Network Lab

シードアクセラレータープログラム、第19期進行中



▶ 株式会社D2 Garage

北海道エリアのスタートアップを対象とした「Open Network Lab HOKKAIDO」を運営



▶ 株式会社DG Daiwa Ventures (出資比率50%/持分法適用会社)

次世代技術を有するスタートアップ企業を対象としたファンド「DG Lab Fund」を運営



▶ Digital Garage US, Inc.

米国を拠点としたグローバル戦略のヘッドクォーター



▶ 株式会社DG Technologies

DG Labと連携し、戦略的な技術開発を推進



▶ 株式会社DK Gate

講談社と次世代コンテンツに関わる領域をグローバルに投資育成

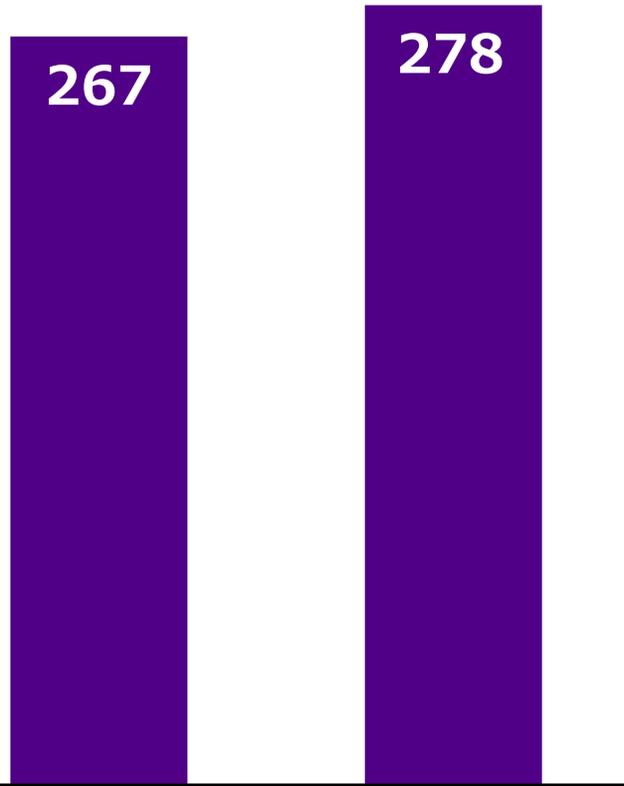




為替の影響/売却に伴う評価差益の減少により、税引前利益は前年同期を下回る
 ~ 一方で、為替の影響を除いた公正価値は着実に増加 ~

BS 営業投資有価証券

(億円)

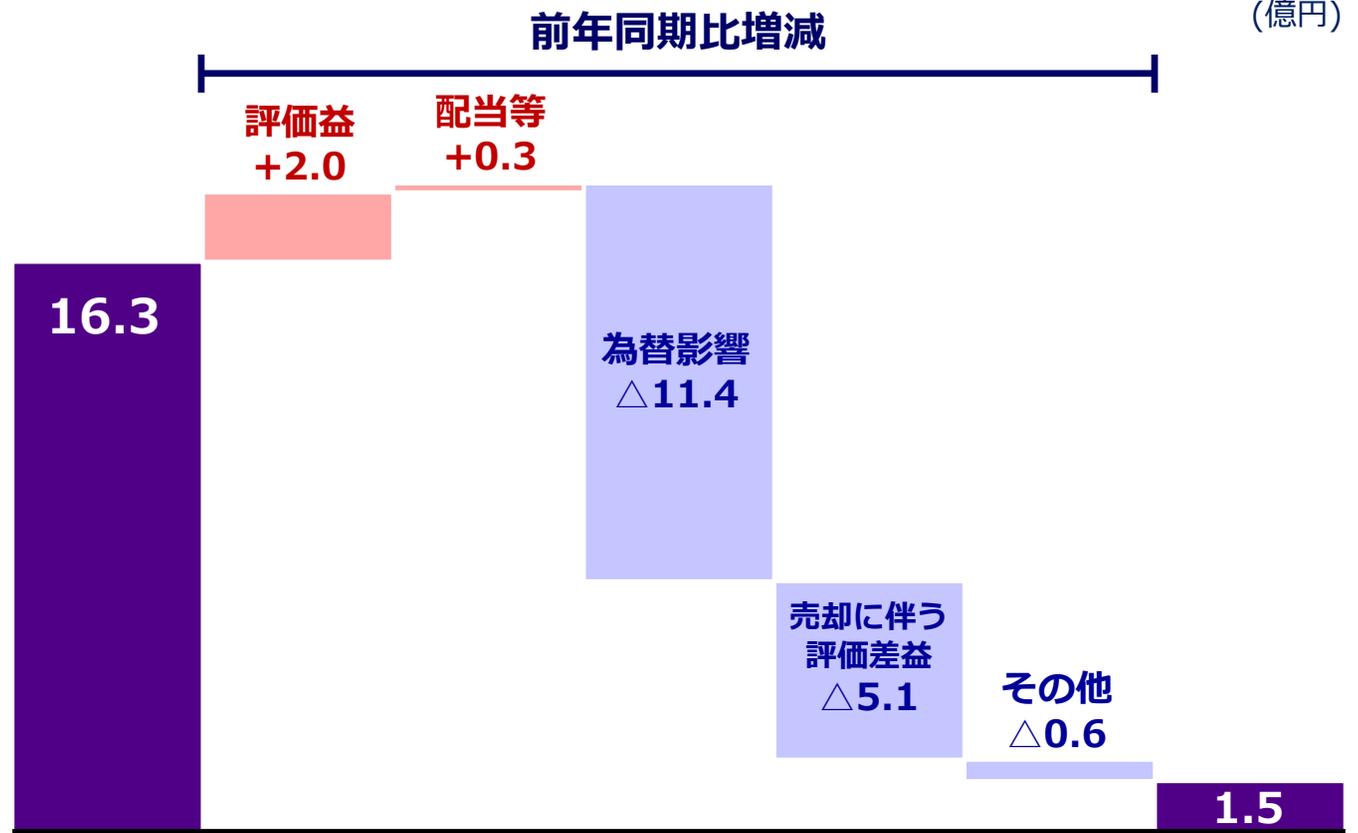


19.3期末

20.3期 1Q末

PL 税引前利益

(億円)



19.3期 1Q

20.3期 1Q

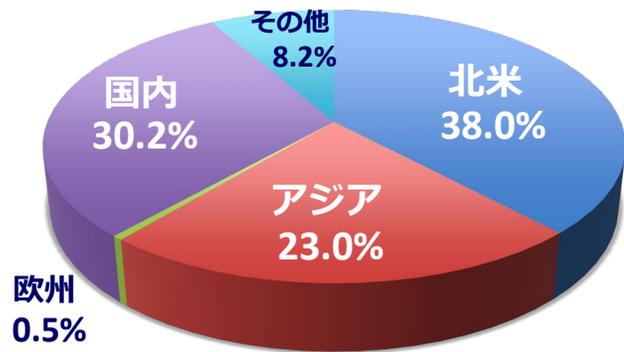


2019年6月末時点の投資先公正価値は278億円

～ 支援体制を強化し、投資価値向上を目指す ～

エリア別ポートフォリオ ※

※簿価ベース



営業投資有価証券残高
278億円

TOPICS

NoBroker Technologies Solutions [インド]



物件検索から契約まで一連の手続きを全てオンラインで可能とするCtoC不動産マーケットプレイスを運営

6月にシリーズCにより
51百万ドルの資金調達

Helium Systems [米国]



施設のモニタリング・品質管理等で利用されるスマートセンサーデバイス及びIoTソリューションの提供

6月に15百万ドルの
資金調達

投資先の一例

QDレーザ [日本]



量子ドットレーザ技術の事業化を目指す先駆者として、通信・産業・医療・民生用分野で新しい半導体レーザソリューションを開発・提供



Grub Market [米国]

GrubMarket

新鮮なオーガニックフードに特化したリーディングマーケットプレイスプラットフォームを展開

WHILL [日本]



スタイリッシュなデザインと洗練された使い心地、直感的な操作性を兼ね備えた全く新しいパーソナルモビリティを開発・提供

Neutron Holdings [米国]



ラストマイルソリューションにフォーカスした電動スクーターのライドシェアリングサービスを展開

Sen Do Technology [ベトナム]



ベトナムのC2C・B2C向けマーケットプレイス「Sendo」の運営、及び電子ウォレットサービスを提供

Game Closure [米国]



異なる環境でも利用可能かつ瞬時にロードすることができるHTML5のゲームプラットフォームを開発・提供

Expedient Healthcare Marketing [インド]



診療所での検査予約や、医者/専門家からの関連情報の提供などを行う医療関連webサービス「Healthians.com」を運営

Droom [インド]



インド最大手の自動車売買オンラインマーケットプレイス「Droom」を運営

IV ロングタームインキュベーションセグメント

	収益	税引前利益
2019年3月期 1Q実績	1,740 百万円	1,050 百万円
2020年3月期 1Q実績	2,232 百万円	1,493 百万円

- ▶ **株式会社カカクコム**（出資比率20%/持分法適用会社）
 購買支援サイト「価格.com」、レストラン検索・予約サイト「食べログ」の運営、
 新興メディア・ソリューション事業等を展開

kakaku.com

- ▶ **株式会社Crypto Garage**
 東京短資と共同でブロックチェーン技術や暗号技術を活用した高度な金融サービス
 の開発と事業化を推進

 **CRYPTO GARAGE**

- ▶ **株式会社アカデミー・デュ・ヴァン**
 ワインスクールの運営事業、ワインの卸売事業等を展開





税引前利益は前年同期比42%増の15億円。カカクコムの特分法投資利益が順調

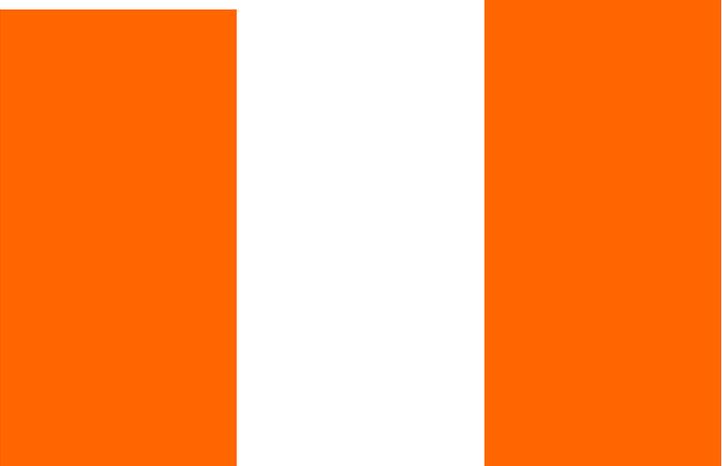
～ 食べログ、新興メディアが好調に推移 ～

税引前利益

(億円)

10.5

14.9 (+42%)



19.3期 1Q

20.3期 1Q

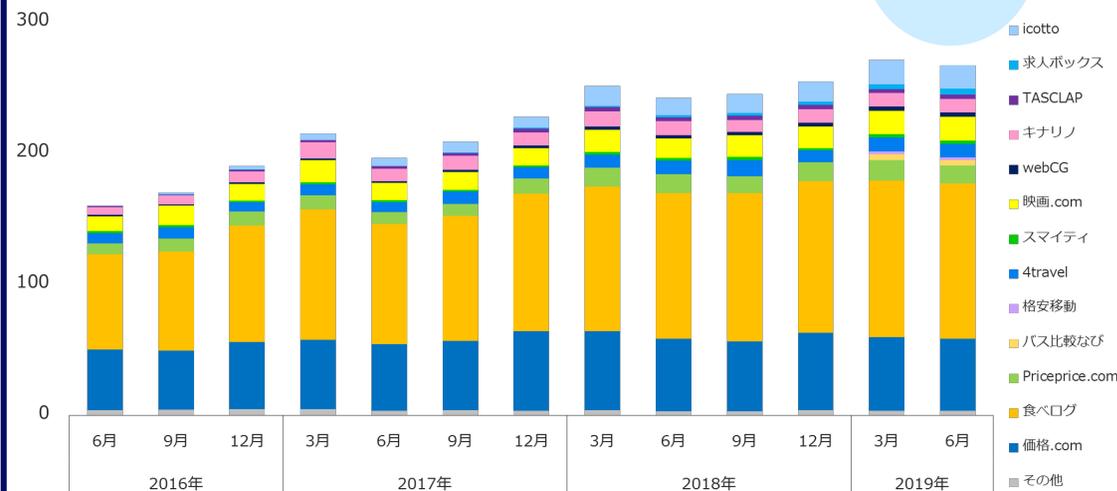
カカクコムの主な事業進捗

【カカクコムグループ積上トラフィック】

グループ全体の月間利用者数は年々増加し、2億6,710万と前年同期比+10.2% (2019年6月)

(百万人)

YoY
+10.2%



集計方法の変更に関して
モバイル端末のウェブページ高速表示に伴い、月間利用者数の計測に置いて一部重複が発生していましたが、2018年9月より重複を除外する集計方法に変更いたしました。2016年9月から2018年9月は変更後の集計方法で再度集計を行い上記のグラフを作成しております。

カカクコム社 2020年3月期 第1四半期決算説明資料より抜粋

Appendix





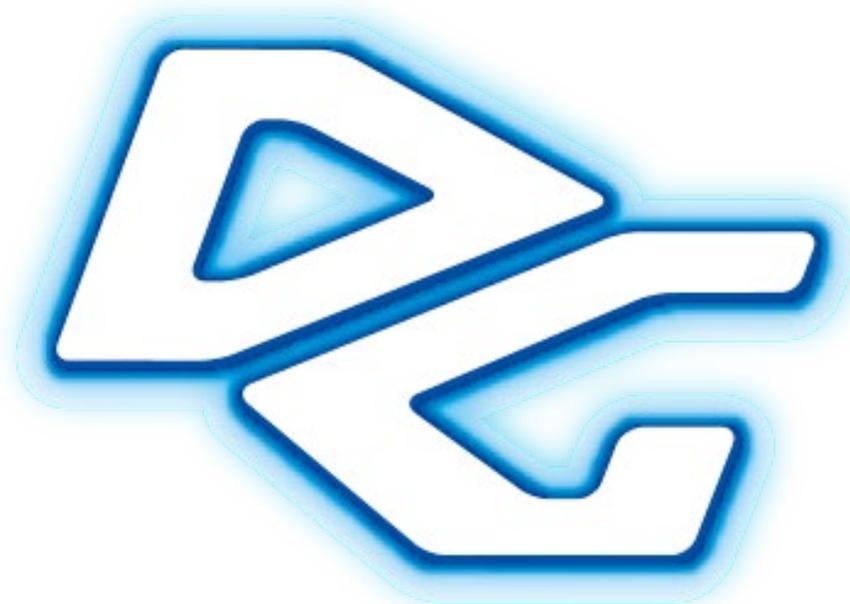
単位：百万円	2018.3期 (通期実績)	2019.3期 (通期実績)
継続事業		
収益	25,503	35,687
カーリグ型事業から生じる収益	18,141	22,713
営業投資有価証券に関する収益	1,007	6,090
その他の収益	2,111	1,933
金融収益	764	117
持分法による投資利益	3,481	4,835
費用	17,127	22,264
売上原価	7,187	10,401
販売費及び一般管理費	9,095	11,296
その他の費用	542	332
金融費用	303	235
税引前利益	8,376	13,424
法人所得税費用	1,857	4,088
継続事業からの当期利益	6,518	9,336
非継続事業		
収益	3,260	1,261
費用	3,403	1,655
非継続事業からの税引前利益	▲ 143	▲ 394
法人所得税費用	38	▲ 225
非継続事業の売却損益	-	898
非継続事業を売却したことにより認識した法人所得税費用	-	275
非継続事業からの当期利益	▲ 181	454
当期利益	6,337	9,790
当期利益の帰属		
親会社の所有者	6,412	9,771
非支配持分	▲ 75	19

単位：百万円	2018.3期 (通期実績)	2019.3期 (通期実績)
収益	25,503	35,687
FT フィナンシャルテクノロジー	5,929	6,693
MT マーケティングテクノロジー	9,939	13,676
IT インキュベーションテクノロジー	2,553	8,022
LTI ロングタームインキュベーション	6,301	7,133
税引前利益	8,376	13,424
FT フィナンシャルテクノロジー	2,809	3,174
MT マーケティングテクノロジー	1,856	1,390
IT インキュベーションテクノロジー	1,321	6,889
LTI ロングタームインキュベーション	3,621	4,378

注) セグメント収益及び税引前利益は、セグメント間取引消去、全社収益及び費用調整前



リリース日		リリース内容
2019年8月2日	 Digital Garage	デジタルガレージ、「Onlab Resi-Tech」を通じて国内大手企業7社とスタートアップ5社が共同実施する実証事業を支援
2019年7月25日	 Digital Garage	デジタルガレージ、MITメディアラボの宇宙研究プロジェクト「Space Exploration Initiative」に協賛参画
2019年6月7日	 NaviPlus	ナビプラス、「NaviPlusレコメンド」にNTTドコモの類似画像検索システムを用いた画像解析レコメンド機能を追加し提供開始
2019年5月31日	 Digital Garage	デジタルガレージ、FDC、Fukuoka Growth Next、スマートシティ・インキュベーションプログラム「Onlab FUKUOKA」を始動
2019年5月23日	 Digital Garage	デジタルガレージと鎌倉市、unerry、昭文社、鎌倉市のオーバーツーリズム解消に向け、観光客の行動を可視化する調査実施に関する協定を締結
2019年5月16日	 Digital Garage	デジタルガレージグループ、読み取り支払い型のマルチQRコード決済ソリューション「クラウドペイ」を提供開始
2019年5月15日	 Digital Garage	デジタルガレージ、「LINE QUICK GAME」向けに、「LINE」グループトーク上で動作するコンテンツプラットフォームを開発
2019年5月13日	 Digital Garage	デジタルガレージ、WelbyとのPHRプラットフォーム構築に向け、福岡市で「PHRを活用した生活習慣病予防プログラム」の実証事業を開始
2019年5月9日	 DG LAB	DG Lab、「How to Build a Data Ecosystem」をテーマにTHE NEW CONTEXT CONFERENCE 2019 TOKYOを開催
2019年4月23日	 Digital Garage	デジタルガレージ、中国人向けに日本の魅力を紹介する新番組「潮食日誌」の制作・配信を開始
2019年4月19日	 CRYPTO GARAGE	Crypto Garage、ビットコイン決済の仮想通貨デリバティブ取引を実現するP2Pプロトコルを開発
2019年4月12日	 DG INCUBATION	DGインキュベーション、米国で急成長中のオーガニックフード特化型マーケットプレイスGrubMarketにリードインベスターとして出資
2019年4月1日	 veritrans	ベリトランス、特許庁での特許料等の手数料収納業務向けにクレジットカード決済サービスを提供



Digital Garage

本資料に記載された今後の見通し、戦略などは現在の弊社の判断であり、様々な要因の変化により、将来の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご了承ください。この文書は、投資家向け説明資料として一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。また、この文書は、米国その他証券の売付けまたは買付けの勧誘を行うにあたり証券法の登録または資格要件の充足が必要となる地域における証券の売付けまたは買付けの勧誘を構成するものではありません。当社又は当社連結子会社の証券いかなる証券も米国の1933年証券取引法（以下「1933年米国証券法」といいます。）に基づいた登録がなされておらず、1933年米国証券法に基づく登録を行うか、または登録の免除を受ける場合を除き、米国において証券の売付けまたは勧誘を行うことはできません。米国において証券の公募を行う場合には、公募を行う会社およびその経営陣ならびに財務諸表に関する情報を記載した目論見書によって行うこととなります。